

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	防犯体制の整備		電話番号	087-839-2555
	基本事業	防犯施設の整備		事業実施主体	市
	事務事業	防犯組織・環境整備事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	夜間における犯罪の防止と通行の安全を図るため、地域の単位自治会が所有する防犯灯の新設、移設及び管球交換並びに電気料金の助成を高松市連合自治会連絡協議会に対して行っている。また、防犯協会の防犯活動事業に対する助成を行うとともに、公益財団法人香川県暴力追放運動推進センター・特定非営利活動法人被害者支援センターがかわ（平成 26 年 4 月 1 日より公益社団法人「かがわ被害者支援センター」に名称変更）への負担金を支出している。				
29年度概要	1	防犯灯新設等助成金			
	2	防犯灯修繕等			
	3	各地区防犯協会補助金			
	4	香川県暴力追放センター負担金・犯罪被害者支援負担金			
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	全市民
意図（どのような状態にしたいか）	防犯灯の維持管理が適切に行われることで、市民の夜間通行の安全を確保する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
各種団体への負担・補助件数	件			10	10	12

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
総防犯灯数	灯	目標値			27,188	27,188	27,188
		実績値			28,997		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>防犯灯数は、環境の変化により不要となった防犯灯を撤去する必要性もあり、総合的に判断する必要がある。平成 28 年度については、全ての新設の要望に対応することはできなかったが、概ね必要数を確保できたと思われる。</p> <p>(目標達成度)</p> <p>(達成度) 106.7%</p> <p>35点</p>						
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>(目標達成度)</p> <p>(達成度)</p>						

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	285,737	192,749	151,795	116,830
（事業費）	[円]	282,046	188,910	147,869	112,904
（職員人件費）	[円]	3,691	3,839	3,926	3,926

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
全ての防犯灯新設の要望に対応することはできなかったが、概ね必要数を確保できたと思われる。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
防犯灯の補助制度について、今後、現在の防犯灯の設置状況を踏まえ、必要な箇所へ適切に配置されるよう、不要分の撤去や移設等補助制度の見直しを検討していく。			